

MHF® 4L Connector

Part No. Plug:20632-001R-37 Receptacle:20579-001E-**

Product Specification

Qualification Test Report No. TR-24070

0	S24513	December 19, 2024	K. Ikeshita	-	K. Yufu
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

Confidential C I-PEX Inc. QKE-DFFDE06-08 REV.12

1. 適応範囲

本規格は、MHF 4L コネクタの性能と試験条件について規定する。

2. 製品名称及び製品型番.

2.1 製品名称

MHF 4L PLUG MHF 4L RECEPTACLE

2.2 製品型番

Plug: 20632-001R-37 Receptacle: 20579-001E-**

3. 定格

3.1 適応ケーブル

(1) 構成

中心導体: AWG#30(7/0.102), 銀メッキ軟銅線 誘電体: フッ素樹脂,外径 0.9(±0.05)mm

外部導体: 16/5/0.05,標準外径 1.13mm, 銀メッキ軟銅線または錫メッキ軟銅線

ジャケット: フッ素樹脂,外径 1.37(±0.05)mm

(2) 仕様

特性インピーダンス : 50±2Ω (TDR) 標準静電容量(参考値) : 98pF/m

293K(20℃)時の中心導体抵抗(参考値): 320Ω/km 耐電圧 : AC 1,000V・1 分間にて絶縁破壊の無い事

3.2 使用条件

電圧: 60V AC (per contact pin) 使用温度: 233~363K(-40℃~90℃)

(通電による温度上昇含む) 特性インピーダンス: 50Ω 周波数: DC~12.0GHz

電圧定在波比: [PLUG] 1.30 MAX at 0.1~3GHz. 1.40 MAX at 3~6GHz.

1.50 MAX at 6~9GHz. 1.60 MAX at 9~12GHz.

[RECEPTACLE] 1.30 MAX at 0.1~3GHz. 1.40 MAX at 3~6GHz. 1.50 MAX at 6~9GHz. 1.65 MAX at 9~12GHz

4. 試験及び性能

試験条件

特に指定のない限り、測定と試験は、MIL-STD-202 に基づき以下の条件で行う。

温度··· 288K~308K(15℃~35℃)

気圧… 866hPa~1066hPa(650mmHg~800mmHg)

相対湿度… 45~75%R.H.

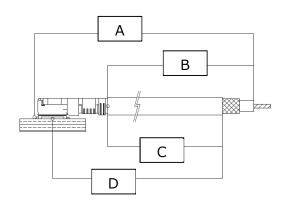
4.1.電気的性能

1. 接触抵抗

Reference standard: MIL-STD-202-307

試験条件: テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタを嵌合させ、開回路電圧 20mV DC 以下、短

絡電流 10mA DC 以下で 4 端子法に芯線及びシールド線の図 1 に示す区間の接触抵抗を測定する。



中心コンタクト = A - B <u>外部コンタクト</u> = D - C

Fig.1

合格基準: コンタクト

初期: 20 mΩMAX. 試験後: ⊿R 20mΩ MAX

グランドコンタクト

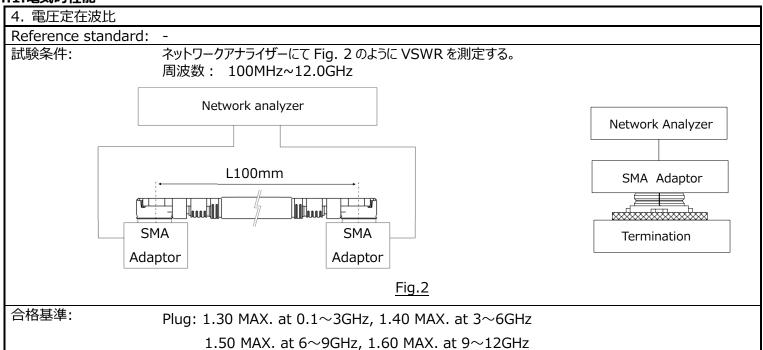
初期: 20 mΩ MAX. 試験後: ⊿R20 mΩ MAX.

2. 絶縁抵抗	
Reference standard:	MIL-STD-202-302
試験条件:	リセプタクル及びプラグコネクタを嵌合させた状態で、中心導体と外部導体の間に DC100V を印加し、測定
	する。
合格基準:	初期: 500 MΩ MIN. 試験後: 100 MΩ MIN.

3. 耐電圧	
Reference standard:	MIL-STD-202-301
試験条件:	リセプタクル及びプラグコネクタを嵌合させ、隣接する端子間に AC200V(実効値)を一分間印加する。

合格基準: 沿面放電、空中放電、絶縁破壊等の異常無きこと。

4.1.電気的性能



4.2.機械的性能

T. Z. 17X1/WED THE	
1. 挿抜力	
Reference standard:	-
試験条件:	テスト基板にリセプタクルを半田付けする。その後、試料を挿抜試験機に取り付け、嵌合軸に平行に 毎分 25±3mm の速度で、初期の挿入抜去力及び 30 回目の挿入力を測定する。
合格基準:	挿入力 初期: 30 N MAX. 30 回目: 30 N MAX. 抜去力 初期: 20 N MAX., 5 N MIN. 30 回目: 20 N MAX., 3 N MIN

Receptacle: 1.30 MAX. at $0.1\sim3 GHz$, 1.40 MAX. at $3\sim6 GHz$,

1.50 MAX. at $6\sim$ 9GHz, 1.65 MAX. at $9\sim$ 12GHz

2. 耐久性	
Reference standard:	-
試験条件:	テスト基板にリセプタクルを半田付けする。その後、試料を挿抜試験機に取り付け、嵌合軸に平行に 毎分 25±3mm の速度で、30 回挿入抜去を行う。
合格基準:	接触抵抗: 4.1.1 を満足する事。 外観: 機能を損なう異常無き事。

4.2.機械的性能

3. ケーブル保持力

Reference standard: -

試験条件: 引張り試験機を用いて、毎分 25±3mm の速度でケーブルを Fig. 5 の様に引張り測定する。

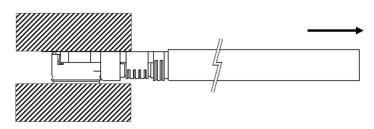


Fig.5

合格基準: 15 N MIN.

4. 耐振動性

Reference standard: MIL-STD-202-201

試験条件: テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ振動試験機に取り付け、以下の振動

を加える。試験中 100mA DC の電流を流して電気的瞬断を確認する。

周波数: 10Hz→100Hz→10Hz/約 15 分 片振幅、加速度: 1.5mm or 59m m/s² (6G)

方向、サイクル: 3つの互いに直角な方向について各5サイクル(約75分)実施。

合格基準: 接触抵抗: 4.1.1 を満足する事。

瞬断: 試験中、1usを超える電気的瞬断の無き事。

外観:機能を損なう異常無き事。

5.耐衝擊性

合格基準:

Reference standard: MIL-STD-202-213, Condition A

試験条件: テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ衝撃試験機に取り付け、以下の衝撃

回数: 各3回

を加える。試験中 100mA DC の電流を流して電気的瞬断を確認する。 最大加速度: 75G 方向: 直交する 6 方向: 直交する 6 方向

標準持続時間: 11msec. 波形: 半波正弦波

瞬断: 試験中、1µsを超える電気的瞬断の無き事。

外観:機能を損なう異常無き事。

4.3.耐環境性能

1. 熱衝撃	
Reference standard:	MIL-STD-202-107, Condition A
試験条件:	テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ、以下の環境条件に暴露する。
	温度: 218K(-55℃),30 分→358K(85℃),30 分
	移動時間: 5 分 MAX.
	回数: 5 サイクル
合格基準:	接触抵抗: 4.1.1.を満足する事。
	絶縁抵抗: 4.1.2.を満足する事。
	耐電圧: 4.1.3.を満足する事。
	外観:機能を損なう異常無き事。

2. 高温寿命	
Reference standard:	MIL-STD-202-108, Condition B
試験条件:	テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ、以下の環境条件に暴露する。 温度: 358±2K (85±2℃) 期間: 96 時間
合格基準:	接触抵抗: 4.1.1.を満足する事。 端子保持力: 4.2.3.を満足する事。 外観: 機能を損なう異常無き事。

3. 湿度(定常状態)	
Reference standard:	MIL-STD-202-103, Condition A
試験条件:	テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ、以下の環境条件に暴露する。
	温度: 313±2K (40±2℃)
	湿度: 90~95%RH
	期間: 96 時間
合格基準:	接触抵抗: 4.1.1.を満足する事。
	絶縁抵抗: 4.1.2.を満足する事。
	耐電圧: 4.1.3.を満足する事。
	外観:機能を損なう異常無き事。

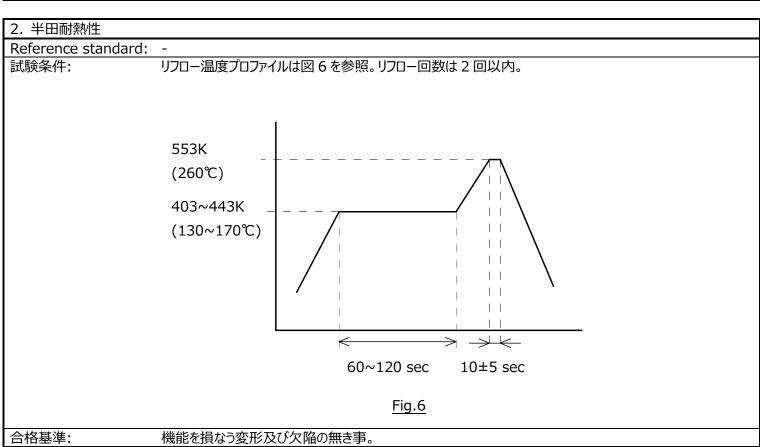
4. 塩水噴霧	
Reference standard:	-
試験条件:	テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ、以下の環境条件に暴露する。 温度: 308±2K (35±2℃) 塩水濃度: 5±1%[重量比] 期間: 48 時間
合格基準:	接触抵抗: 4.1.1.を満足する事。 外観: 機能を損なう異常無き事。

4.3.耐環境性能

5. 硫化水素ガス	
Reference standard:	-
試験条件:	テスト基板にリセプタクルコネクタを半田付けし、プラグコネクタと嵌合させ、以下の環境条件に暴露する。 温度: 313±2K (40±2℃) 相対湿度: 80±5%RH ガス: H ₂ S 3±1ppm 期間: 48 時間
合格基準:	接触抵抗: 4.1.1.を満足する事。 外観: 機能を損なう異常無き事。

4.4.その他

1. 半田付け性	
Reference standard:	-
試験条件:	端子の半田付け部を 518±5K (245±5℃)の半田槽内に 5±0.5 秒間浸す。フラックスは、RMA 型ま
	たは R 型を使用し、5~10 秒間浸漬するものとする。
合格基準:	浸した面線の 95%以上に半田がむらなく付着すること。



4.5 試験順序と試料数

テストグループ AからQの詳細については、テストレポートに記載されています。

Table 1 試験順序と試料数

Table 1 試験順序と試料数																	
No. 試験項目 ·		テストグループ															
1 1 1	0.	山原大・矢口	Α	В	С	D	Е	F	G	Н	J	K	L	М	N	Р	Q
1212	1	接触抵抗					1,3		1,3	1,3	1,5	1,5	1,3	1,3	1,3		
的性能	2	絶縁抵抗									2,6	2,6					
4.1 電気的性能	3	耐電圧	1								3,7	3,7					
7	4	電圧定在波比		2													
	1	挿入力			1												
淵	1	抜去力				1											
战的性	2	耐久性					2										
4.2 機械的性能	3	ケーブル保持力						1									
4	4	耐振動性							2								
	5	耐衝擊性								2							
	1	湿度(定常状態)									4						
工能	2	熱衝撃										4					
.3 耐環境性能	3	高温寿命											2				
4.3 į	4	硫化水素ガス												2			
	5	塩水噴霧													2		
4.4 その他	1	半田付け性														1	
4.4	2	半田耐熱性															1
	試料数			10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

※グループ表中の番号は、試験順序を示す。

5. 推奨メタルマスク

推奨マスク厚と開口寸法に関しては、図面参照のこと

Confidential C

